

<基本的な考え方>

- 学校安心ルールは、あらかじめルールを明示することにより、子どもたちがしてはいけないことを自覚したうえで、自らを律することができるよう促すことを目的として作成したものです。
- 子どもたちには日頃より、基本的な約束に示されたことがらを心がけることを伝え、ひとりひとりがルールを守ることの大切さや相手のことを考えることができる、「より良い社会（学校）」をめざしています。
- 第1～3段階の基本となるものは、『体罰・暴行行為を許さない開かれた学校づくりのために』の「児童生徒の問題行動への対応に関する指針」によるものです。
- 性格、学力、体力、家庭環境（生活背景）、成育歴などは、子どもたち一人ひとりによって全く違います。また、その日の体調や精神状態によって表出される行動や態度は違います。本校では、子どもたち一人ひとりの様子を把握し、子どもに寄り添い、家庭や地域の皆様と密に連携しながら、その子の状況に応じた指導を展開してまいります。
- 学校は教育機関であり、司法機関（裁判所）や行政機関（警察等）とは違います。それゆえ、子どもたちの成長を願う指導を基本としています。学校外の私的なトラブルや犯罪に関わること等については主として保護者が対応することとなりますが、事実確認が必要となる場合や、指導の範疇をこえる問題については教育委員会、区役所、こども相談センター、警察署など関係諸機関と連携して対応する場合があります。

対応 段階	学習の時に	他の子に対して	先生に対して	その他のルールとして	学校等が行うことができる対応
基本的な 約束ごと	① 頑張って学習に取り組む ② 人の心や体を傷つけない ③ 人に親切にする ④ ルールを守る ⑤ 嘘をつかない				
第1段階	・ 授業時間におくれる	・ からかう、ひやかす ・ 無視する ・ 物をかってに使う	・ 指導を素直に聞かない ・ 指導を無視する ・ からかう、ひやかす	・ 物を大切にしない ・ 自分の机等に落書きする ・ 学校の物をかってに使う	・ その場で注意 ・ 場合によっては家庭連絡 ・ 個別指導 ・ 自己を振り返る活動
第2段階	・ 授業のじゃまをする ・ 授業に関係のない話をする ・ 授業をさぼり校内でたむろする	・ 仲間はずれにする ・ 悪口、かげ口を言う ・ こわがるようなことをしたり言ったりする	・ 指導に対して反抗する ・ 挑発的な態度をとる ・ バカにしたようなことを言う	・ 学校の物をこわす ・ 夜中に歩き徘徊する ・ カードやゲーム等で賭けごとをする	・ その場で注意 ・ 家庭連絡 ・ 複数の教職員による個別指導 ・ 数日間の自己を振り返る活動
第3段階	・ 授業中、故意に妨害をする ・ テストのじゃまやカンニングを繰り返す ・ 学校をさぼり校外にたむろする	・ いやがることを無理やりさせる ・ 暴力をふるう（プロレス技をかけるなども） ・ 物を故意にこわしたり、すてたりする	・ 指導に対して激しく反抗する ・ こわがるようなことをしたり言ったりする ・ 押す、突き飛ばす、ぶつかるなどの暴力をふるう	万引きやバイクの無免許運転・飲酒・喫煙など法律に違反するようなこと	・ 家庭連絡 ・ 一定期間の別室における個別指導及び学習指導 ・ 関係諸機関（警察・こども相談センター）と連携し、学校内で指導を行う。 ・ 状況によっては個別指導教室を活用した指導
	第3段階よりも重いと思われる事象や違法行為（窃盗や傷害・恐喝行為など）については、学校は教育委員会事務局の担当指導主事と連携し、対応について協議する。				

<ルール表作成上の留意点>

- ※学校は児童生徒ひとりひとりの状況等も十分にふまえ、対応について判断します。
- ※「学校等が行うことができる対応」については、あくまでも例示であり、学校の判断で対応することがあります。
- ※「個別指導教室」とは、生活指導サポートセンター内に設置した教室であり、経験豊富な元校長先生等がいつでも丁寧な立ち直り支援を行う場所です。